

## Press Release

2009-02-16 No. 09-01

### 曙ブレーキ、「締固め<sup>しめかた</sup>検知機能を付加したコンクリートの充填検知システム」を開発

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市)は、東洋建設株式会社(代表取締役社長:赤井憲彦 本社:東京都江東区)と、コンクリート構造物の信頼性を高める技術として、「締固め<sup>しめかた</sup>検知機能を付加したコンクリートの充填検知システム」を共同開発しました。

コンクリート構造物の建設では、強度など品質面において、鉄筋や型枠の隅々までコンクリートが充填されている事が重要となります。コンクリートは、充填作業と、その後に行われる棒形の振動機を使った「締固め<sup>しめかた</sup>」作業という二つの作業により、不要な空気が除去された均質な状態になりますが、実際の建設現場で行われるコンクリート充填は広範囲にわたるため、目視で確認するということが困難な箇所が出てきます。今回共同開発したシステムは、当社が2003年6月より商品名「ジューテンダー」として販売し、実際に建設現場で使用して頂いている製品をさらに進化させたものです。従来の「ジューテンダー」は、充填状況を確認する製品ですが、今回新たに開発したシステムでは、充填状況とともに「締固め<sup>しめかた</sup>」作業状況を同時に確認するもので、更なる品質向上に貢献することができます。さらに、高価な計測用加速度センサを用いずに、「ジューテンダー」で使用するセンサ(振動デバイス)で、センサ付近の充填状況とともに、振動機とセンサ間の振動加速度を検知、演算し、締固め<sup>しめかた</sup>状況をリアルタイムで確認できるという特徴もあります。東洋建設株式会社は、建設現場において本システムを使用し、利便性と有効性を確認しており、今後、両社は、更なる研究を重ねて製品化する予定です。